

若い力で全力投球！！

勝山ひでお通信

Vol. 5

ごあいさつ



去年は新人議員として誠心誠意、全力で働かさせていただきました。市民相談268件、定例会議では毎回質問させていただきました。

たくさんの市民の皆様の声を賜り、市政に届けさせていただくことができ、心より感謝を申し上げます。

安全・安心な長野、住みよい長野、活力ある長野、魅力ある長野を目指し、本年も全力で働く決意であります。

今後とも暖かいご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

発行 勝山ひでお

TEL/FAX 026-219-2016

ホームページ <http://www.komei.or.jp/km/nagano-katsuyama-hideo/>

長野市下駒沢2253-1

E-mail: katsuyama@nkomei.com

平成25年度予算要望を鷺沢市長に提出



昨年11月5日、公明党長野市議員団として平成25年度予算要望を鷺沢市長に提出させていただきました。

重点項目として第三次高度情報化計画の推進、公共施設白書の有効活用、再配置計画、長寿命化計画の推進、高齢者福祉・介護保険制度の充実、子育て支援対策の充実、スポーツを活用した観光まちづくりの推進などを盛り込み、16綱、128項目、259細目について要望しました。



Facebook



Twitter 始めました！



先月よりフェイスブックとツイッターの投稿を始めました。

日頃の活動、感想など随時つぶやいてみようと思います。

気軽に見てください。

Twitterアカウント: [katsuyamahideo](#)

Facebookは勝山秀夫で探して下さい



12月議会個人質問

12月定例議会が11月30日から12月18日まで19日間行われ、補正予算等、重要な議案が審議されました。

本議会も個人質問に立たせていただき、「子供の読書推進」について質問をさせていただきました。

主な質問、答弁の趣旨は以下のとおりです。



子どもの読書推進について

勝山 平成19年に作成した「長野市子ども読書推進計画」の成果と課題は？

教育長 成果としては、市有施設における「赤ちゃんのおはなし会」や子育て教育での読み聞かせの実施、長野市版ブックスタート「おひざで絵本」事業などにより、幼少期から絵本と触れ合うことの大切さや楽しさを伝える良いきっかけ作りができたこと。小・中学校及び市立長野高校において、学校一斉読書が行われ、読書活動が推進されたこと。

課題としては、家庭で読書をする時間が減った。学年が進むにつれて学校内外の諸活動の忙しさや本以外への興味関心が広がり、読書量が減る傾向がある。



勝山 現在、作成中の「第二次長野市子ども読書推進計画」の重点ポイント、新たな取り組みは？

教育次長 基本的視点として、「読書に親しむ環境の充実」「家庭・地域・図書館・学校の連携の推進」「子供の読書活動を支える人材の育成」の3点を設け重点事業と定めて推進する。新たな取組として、乳幼児から絵本に親しむことが重要と考え、出生届の際など早い段階から保護者への読書啓発や、社会教育施設の行事に併せた読書関連企画の実施、更に、長野市家庭の日における読書の奨励などが盛り込まれている。

勝山 学校司書はいまだ法制化されていないため、その呼称、位置付け、待遇、雇用条件等は自治体により異なり、不安定な身分、賃金格差問題、研修機会の保障がない等、多くの問題が存在します。長野県における「図書館の現状と今後の方向」の中に、学校司書を地方自治体の制度の中に明確に位置付け、身分を安定させ、待遇を向上させるとともに、その専門性を高めることが望まれますとありますが、長野市としての所見を伺う。

教育次長 学校司書一すなわち学校図書館職員は、本市においては各学校が配置しており、その人件費分として、各学校に学校図書館運営費補助金を交付しております。待遇、雇用条件などにつきまして、各学校での図書館運営の状況に応じ異なるため、学校ごと学校図書館職員と個々に契約しております。学校図書館職員の雇用形態については、基本目標が今年度初めて達成したことから、今後その勤務実態や状況などを把握・検証し、研究を図ってまいりたいと考えております。また、学校図書館職員への研修は、教育センターで実施している図書館教育などの参加を促しております。今後も校長会等を通じ、その参加を促進してまいりたいと考えております。

勝山 次代を担う子供の健やかな人間形成を図っていくためには、地域全体で連携して子供をはぐくんでいく必要があります。長野市で子供と地域と関わる学校図書館を検討されてはいかがでしょうか？

教育次長 学校図書館の一般開放でございますけれども、不特定多数の利用者が訪れることから、学校運営やセキュリティの問題からも困難であり、本市ではその導入は考えておりません。地域へ開かれた学校は願うところがあります。例えば学校における読書活動を取り入れての地域の方との交流については、現在の読み聞かせなどに加え、子供たちが高齢者施設を訪問して朗読会を開催したり、地元の歴史を題材に交流を行うことなど考えられますので、今後も研究してまいりたいというふうに考えております。

